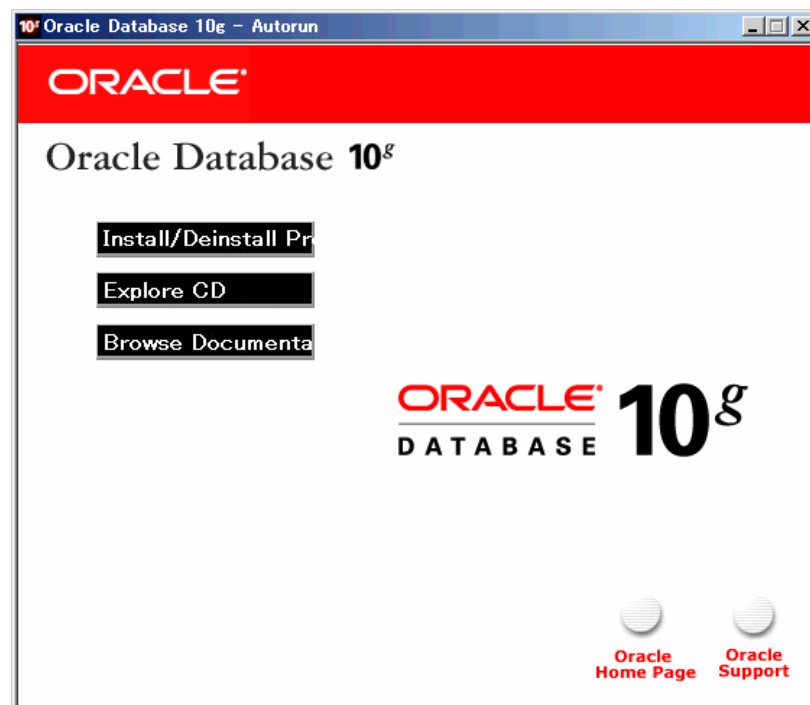


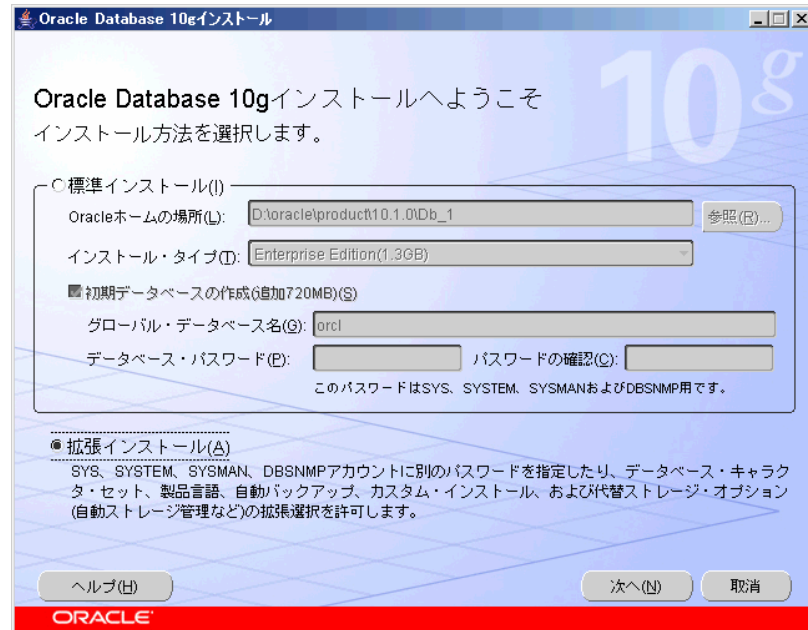
Oracle 10g (10.1.0.4)のインストール方法

PDS のデータベースサーバとして利用できるように Oracle Database 10g (10.1.0.2.0)をインストールする方法を説明します。Active Directory サーバ(ドメインコントローラ)である Windows Server 2003 をデータベースサーバとする場合には、Oracle Database 10g Patch Set Release 10.1.0.4 をインストールする必要があります。なお、Oracle Database 10g (10.1.0)には、RISORADS 06.00.00.00 が対応します。

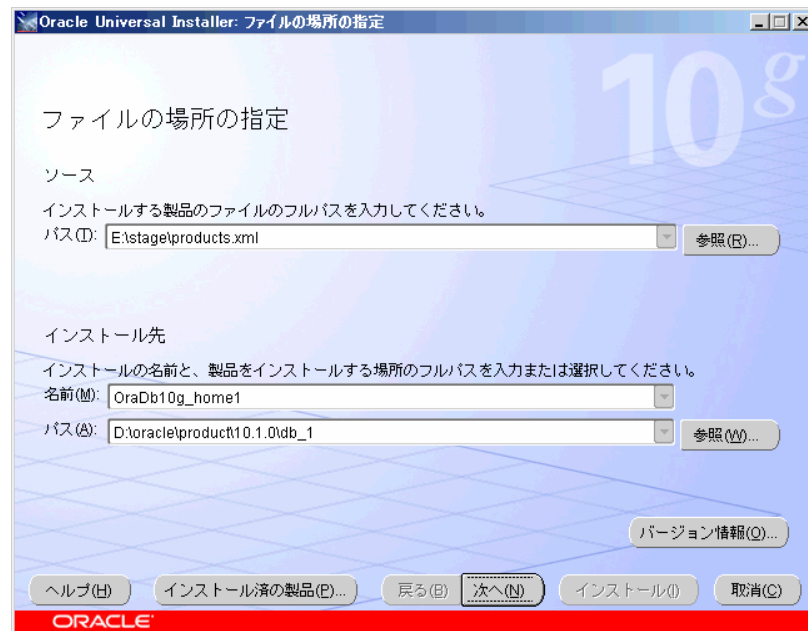
- 1) インストールするマシンの OS が日本語版の場合、コントロールパネルの**地域**で、地域情報として**“英語 (U.S.)”**を選択しておきます。なお、“**システムの標準の地域情報として設定**”オプションを選択する必要はありません。
- 2) CD-ROM ドライブに Oracle 10g Database の CD-ROM を挿入します。以下のような画面が表示されます。Install/Deinstall Products を選択します。



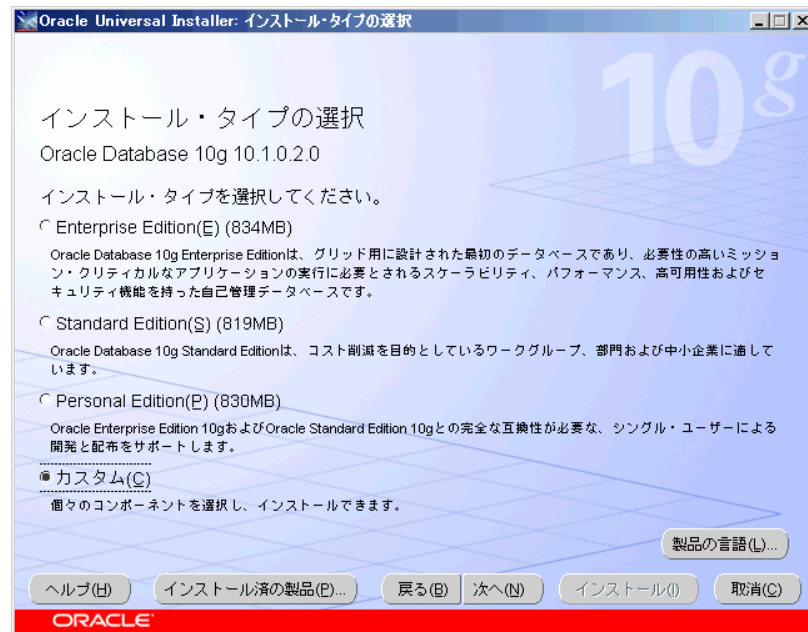
- 3) 拡張インストールを選択します。次へボタンを選択します。



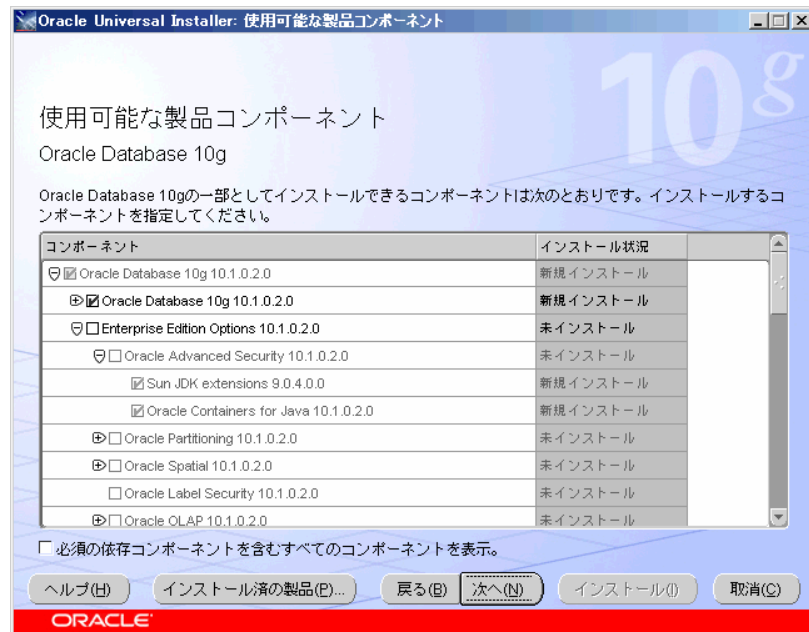
- 4) インストール先のパスに対してインストール先のパス名を入力します。次へボタンを選択します。



5) インストール・タイプとして**カスタム**を選択し、**次へ**ボタンを選択します。



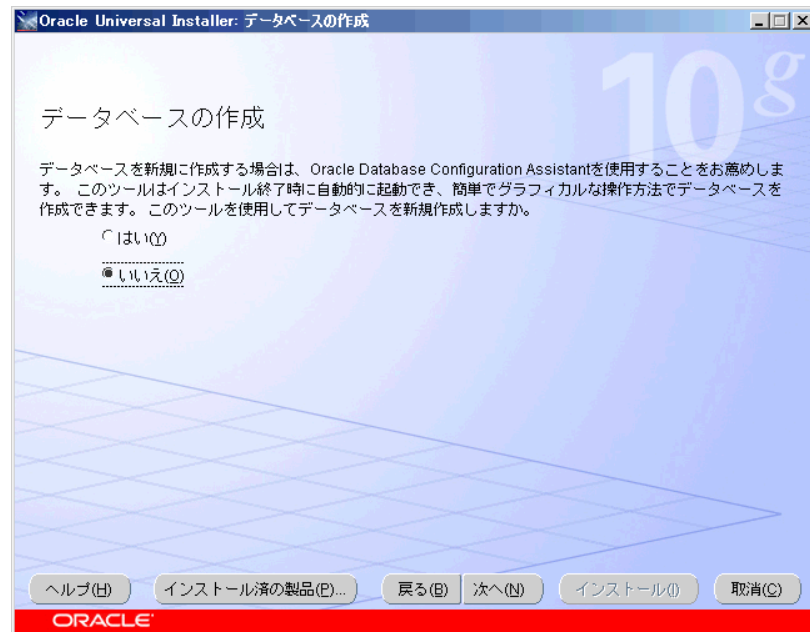
- 6) インストールを行う製品を選択し、**次へ** ボタンを選択します。



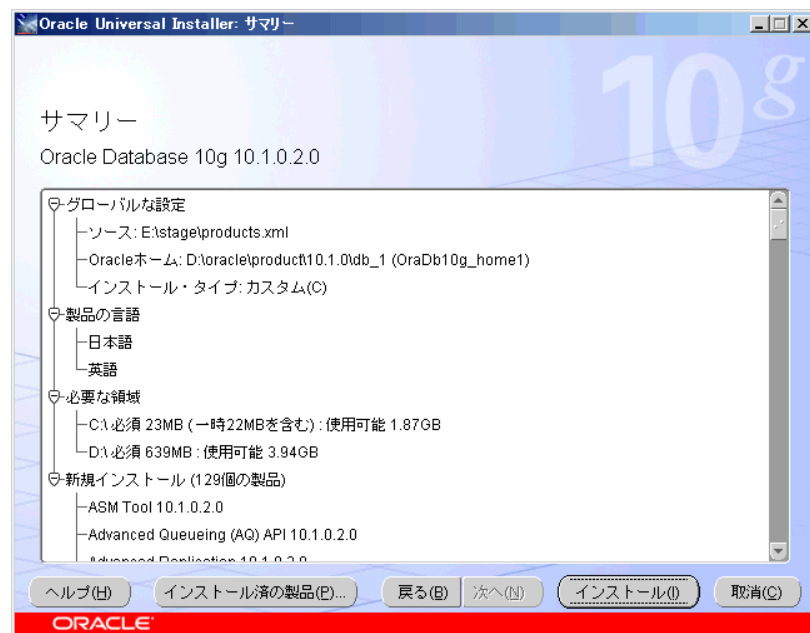
通常、PDS のデータベースサーバとして利用する場合には、以下のように Oracle Database 10g 10.1.0.2.0 および Oracle Net Services 10.1.0.2.0 を選択します。

- Oracle Database 10g 10.1.0.2.0**
 - Oracle Database 10g 10.1.0.2.0**
 - Enterprise Edition Options 10.1.0.2.0**
 - Oracle Net Services 10.1.0.2.0**
 - Oracle Enterprise Manager 10g Database Control 10.1.0.2.0**
 - Oracle Development Kit 10.1.0.2.0**
 - Oracle10i Windows Documentation 10.1.0.2.0**
 - Oracle Windows Interfaces 10.1.0.2.0**
 - Oracle Transparent Gateways 10.1.0.2.0**
 - iSQL*Plus 10.1.0.2.0**

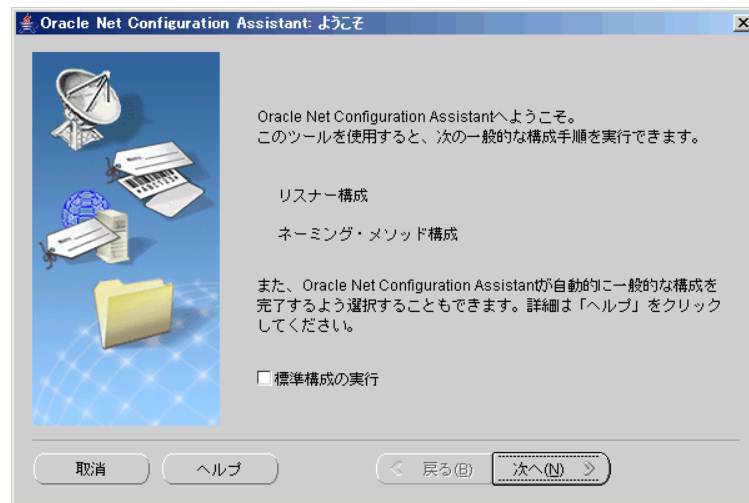
- 7) データベースの作成に対していいえを選択し、**次へ**ボタンを選択します。



- 8) インストールの設定を確認し、**インストール**ボタンを選択します。インストールが開始されます。



- 9) Oracle Net Service のインストール後、Oracle Net Configuration Assistant が起動されます。
標準構成の実行オプションをオフに設定し、**次へ** ボタンを選択します。



- 10) **リスナー名**に対して LISTENER と入力されている状態(デフォルト)で、**次へ** ボタンを選択します。



- 11) **選択済みプロトコル**として TCP プロトコルが選択されている状態(デフォルト)で、**次へ** ボタンを選択します。



- 12) TCP/IP プロトコルで使用するポート番号を指定します。**標準ポート番号の 1521 を使用**オプションが選択された状態(デフォルト)で、**次へ** ボタンを選択します。



- 13) いいえオプションを選択した状態で、**次へ**ボタンを選択します。



- 14) **次へ**ボタンを選択します。



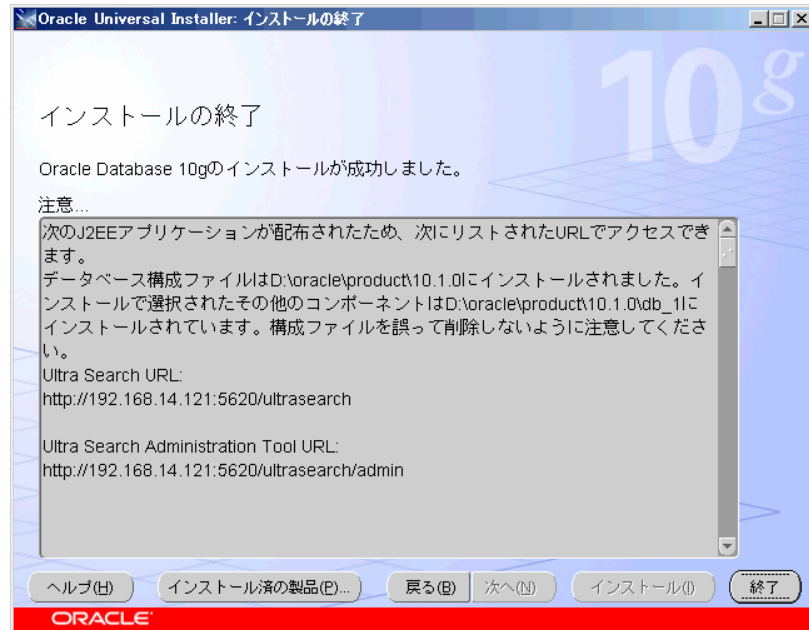
- 15) 追加のネーミング・メソッドを構成しないオプションを選択した状態で、**次へ** ボタンを選択します。



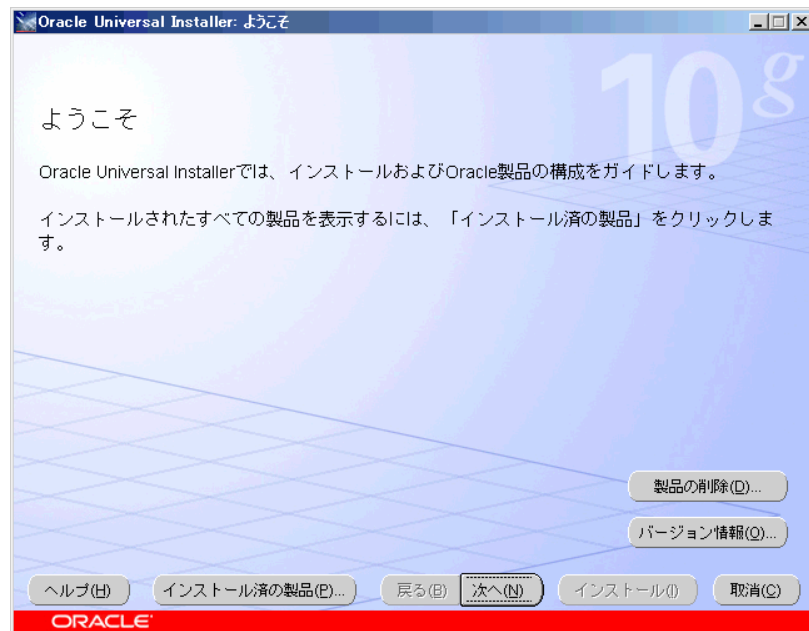
- 16) **終了** ボタンを選択します。



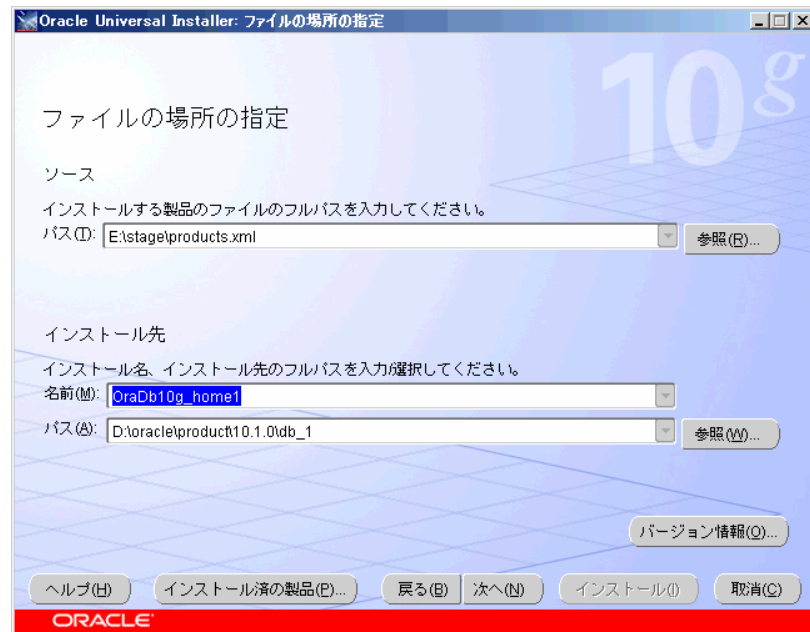
- 17) **終了**ボタンにより Oracle Universal Installer を終了します。



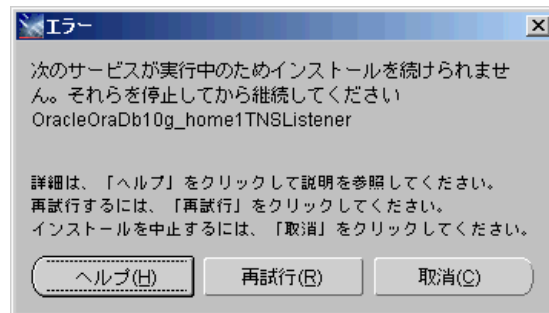
- 18) Oracle Database 10g Patch Set Release 10.1.0.4 内の **setup.exe** を起動します。**次へ**ボタンを選択します。



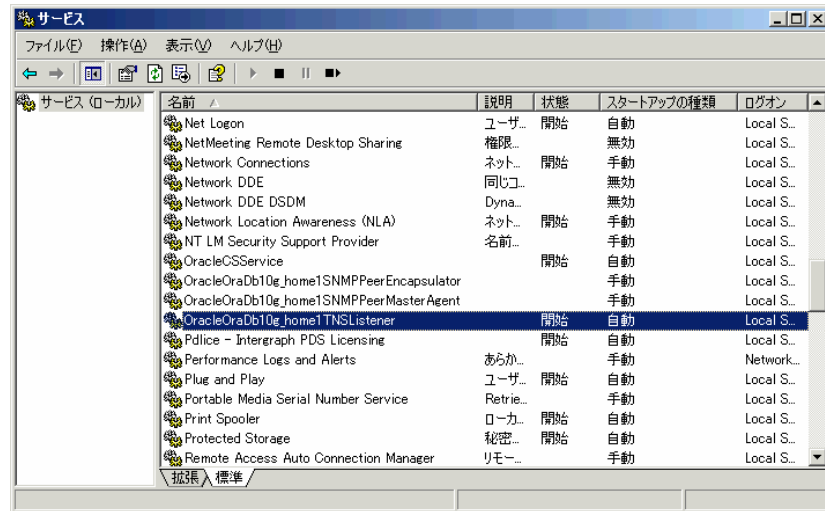
- 19) インストール先の名前から **OraDb10g_home1** を選択します。 **次へ** ボタンを選択します。



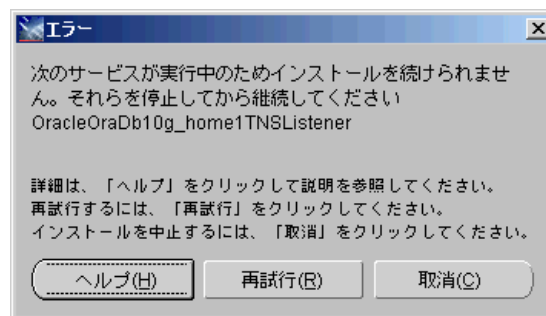
- 20) 以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。このダイアログボックスが表示された状態のまま、いくつかのサービスを停止する必要があります。



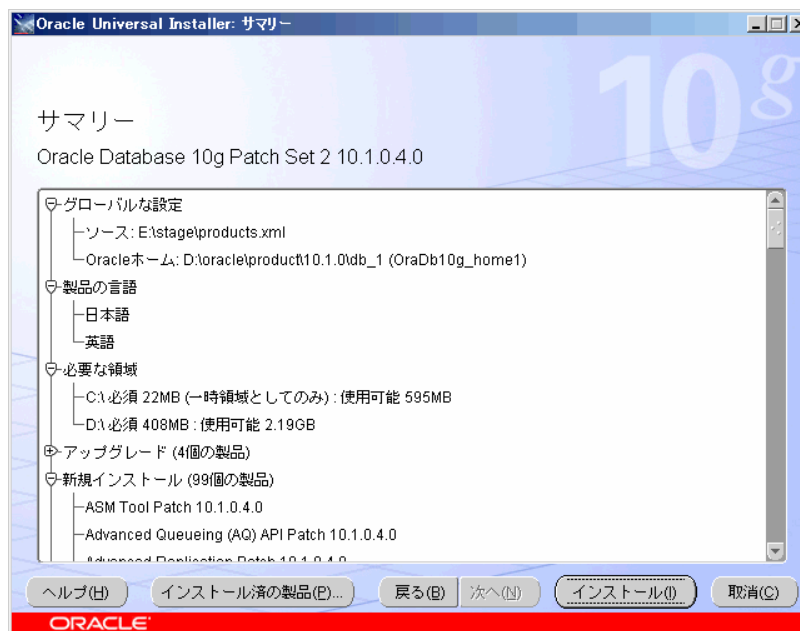
- 21) **スタート**メニュー → **コントロールパネル** → **管理ツール** → **サービス**を起動します。
 "Oracle"で始まる名前のサービスのうち、**状態**が**開始**となっているものを停止します。



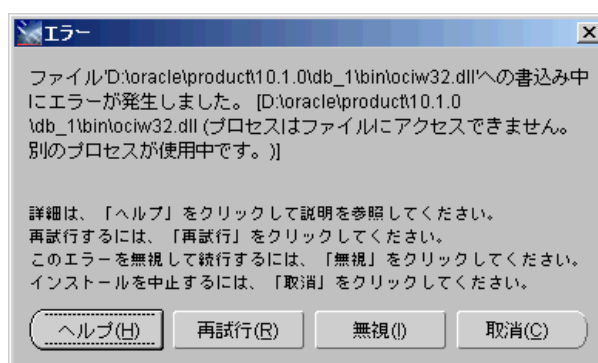
- 22) エラーのダイアログボックスに戻り、**再試行**ボタンを選択します。



23) サマリーが表示されます。**インストール**ボタンを選択します。

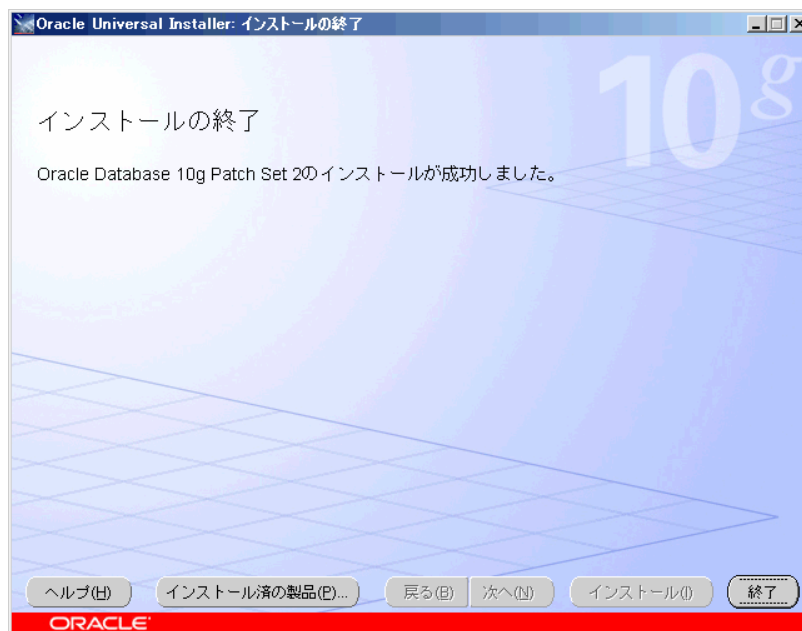


24) インストール中に以下のようなエラーが発生する場合があります。このダイアログボックスが表示された状態のまま、下記のサービスの一つまたは複数、またはその他のサービスを停止する必要があります。サービスの停止を行った後、**再試行**ボタンを選択します。

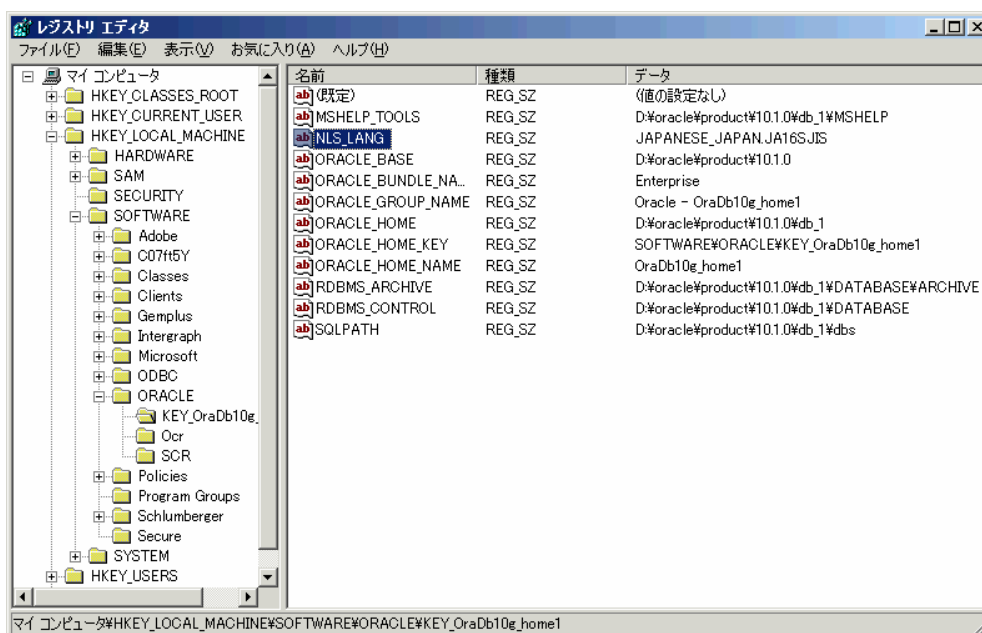


IIS Admin Service
 FTP Publishing Service
 World Wide Web Publishing Service
 Distributed Transaction Coordinator
 Distributed File System
 Distributed Link Tracking Client

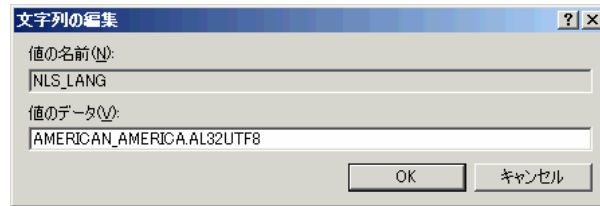
- 25) **終了**ボタンにより Oracle Universal Installer を終了します。



- 26) 日本語 OS 上に Oracle ソフトウェアのインストールを行った場合、NLS_LANG の設定を変更します。コマンドプロンプト等からレジストリエディタ (regedit.exe) を起動します。\\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ORACLE\KEY_OraDb10g_home1 を表示します。

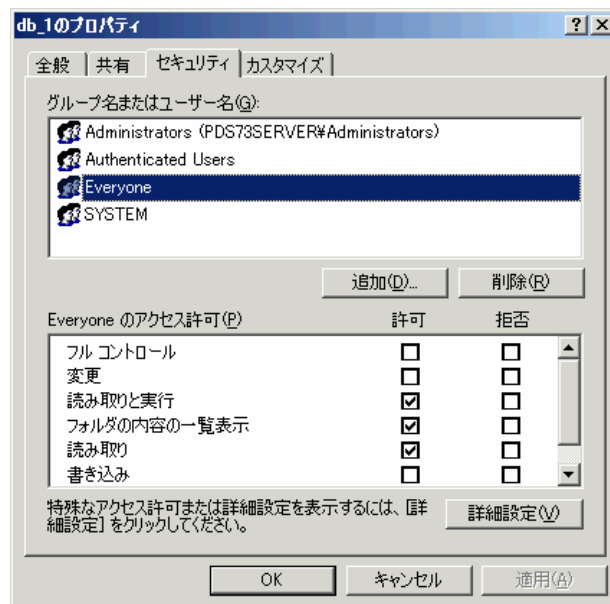


- 27) NLS_LANG をダブルクリックします。値のデータに対して AMERICAN_AMERICA.AL32UTF8 と入力し、**OK** ボタンを選択します。



- 28) レジストリエディタを終了します。

- 29) Windows Explorer 等を使用して **D:\Oracle\product\10.1.0\db_1** フォルダ(インストール先)のプロパティを表示します。以下のように、**Everyone - 読み取りと実行 / フォルダの内容の一覧表示 / 読み取り**のアクセス許可を追加します。



上記で追加を行うアクセス許可は、RIS の Create Schema を実行する際に OS Username として指定するユーザアカウントに対して有効なものとする必要があります。また、このユーザアカウントには、データベースサーバのマシンに対して**ローカルログオン**の権限が必要になります。

The screenshot shows the 'Create Schema' dialog box with the following fields and values:

- Schema Name: pds
- Password: [Empty]
- Schema Type: Standard
- Database Type: Oracle
- Database Name: PDS
- Database Management System Location: D:\Oracle\product\10.1.0\db_1
- OS Username: oracle (highlighted with a red circle)
- Password: [Empty]
- Database Username: pds
- Include Database User's Tables/Views: Yes
- Use Existing Dictionary: No
- OS Type: WINDOWS_NT
- Dictionary Owner: pds

Buttons at the bottom: Force, Apply, Reset, Close, Help.

Active Directory サーバ(ドメインコントローラ)である Windows Server 2003 において、Oracle Database 10g Patch Set Release 10.1.0.4 のインストールを行わなかった場合、データベース (SID)作成時に以下のようなエラーが発生し、以降のデータベース作成処理が正常に行われません。

